



# ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和3年8月31日  
NO. 57



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

花はただ咲く ただひたすらに (相田みつお)

「今の心」と書くと「念」という字になると気づいた時  
「念ずれば花開く」という言葉の意味が  
わかるように思ったものです (渡辺和子)

## 中止になった太田花だんフェアに代えて

『太田花だんフェア』は、「花のまち太田」のシンボリック行事であり、先週の土曜日、8月28日から本校前庭を会場に開催される予定でしたが、昨年以上の新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、2年続けて開催を断念しました。

太田地域の多くの方々が花を持ち寄り、すばらしい花壇を展示していた行事、本校の一番の特色である花壇を広く発信できる行事、太田地域以外からも多数来場し、太田のよさを知っていただいていた行事、本校吹奏楽部が演奏会を開き、花壇の花にさらに花を添えていた行事です。今年は、場所を提供するだけでなく、何らかの形で参加したり力になったり、学びに活用できないかとも考えていたところでした。それが中止になり、残念で仕方ありませんが、災害とも呼ばれるウイルスには勝てません。

その代わりとなるまでは到底いきませんが、今日9月1日(水)に、自分たちが手入れをしてきた花壇を、全校生徒が各自の視点でスケッチをして、また、俳句(川柳)や短歌に詠んで見つめ直しました。各スケッチと短歌(川柳)・俳句は10月開催予定の「太中祭」で展示する予定です。



今年度、各地域の花壇活動に、これまで以上に多くの中学生が参加したことへの感謝の電話や言葉もいただいています。中学生は地域の活力となっています。花の街に生まれ育ってきた人間として、花との関わりを深めることは、地域への愛着や地域住民としての自覚、自分の将来を考えることにもつながると思いますし、地域の力にもなることだとも思っています。地域愛が強い本校の子どもたちですが、より地域を愛し、地域のよさを発見し、地域に生きる意欲を喚起するために、来年の開催を願う、この花だんフェアはもとより、多くの地域行事・催しへの積極的な参加を促していきたいと考えています。

「学校」という名の花壇に「生徒」という名の種をまきます  
そして「絆」という肥料をあげます  
すると「友情」という名の葉がつき  
「親友」という名の花が咲き  
そして「永遠」という名の種に戻るのです  
(坂本金八 武田鉄矢)

桜梅桃梨  
桜は桜らしく 梅は梅らしく  
桃は桃らしく 梨は梨らしく  
花を咲かせ実をつける  
同じように人間も  
それぞれの持ち味を活かした生き方をしなさい  
(古今著聞集)